

< 報道発表資料 >

(府政・経済同時)

令和 8 年 8 月 5 日

KYOTO Cross Media Experience 実行委員会

京都商工会議所産業振興部

京都府商工労働観光部産業振興課

京都市産業観光局クリエイティブ産業振興室

映画・映像、ゲーム、マンガ・アニメなどの

コンテンツの祭典 KYOTO CMEX 2026

イベント開催

この度、18 年目を迎える“京都発 コンテンツの祭典”「KYOTO CMEX 2026」(KYOTO Cross Media Experience 2026) を、以下のとおり開催します。

京都が持つコンテンツのポテンシャルと魅力を国内外に発信するとともに、コンテンツ産業の発展に貢献する人材育成などを目的に、映画・映像、ゲーム、マンガ・アニメなど様々なコンテンツのイベントを実施します。

1 事業主旨

京都を舞台に、産学公連携の下、オール京都体制で映画・映像、ゲーム、マンガ・アニメ等のコンテンツをクロスメディア展開することにより、京都が持つコンテンツのポテンシャルと魅力を国内外に発信するとともに、人材育成・交流を図ります。

2 イベント開催期間 (BitSummit を除く)

令和 8 年 8 月～令和 9 年 3 月

3 会場

京都市勧業館 (みやこめっせ)、京都国際マンガミュージアム、京都文化博物館、東映京都撮影所、松竹撮影所、東映太秦映画村など

4 事業内容

詳細は、別紙「KYOTO CMEX 2026 事業内容」をご参照ください。

※イベントの情報は随時、ポータルサイトで更新します。[\(https://cmex.kyoto/\)](https://cmex.kyoto/)

5 主催

KYOTO Cross Media Experience 実行委員会

<参考>「KYOTO Cross Media Experience 実行委員会」の概要

平成21年7月1日、「KYOTO Cross Media Experience」事業の推進組織として、京都府、京都市、京都商工会議所、関連企業・団体、大学などにより設立。

<お問合せ先>

本事業に関するお問合せ先

京都市産業観光局クリエイティブ産業振興室

電話：075-222-3306

京都商工会議所産業振興部

電話：075-341-9781

京都府商工労働観光部産業振興課

電話：075-414-4852

KYOTO CMEX 2026 事業内容**クロスメディア**

●コンテンツクロスメディアセミナー（全2回）

＜第1回＞ ※第2回調整中

開催日：11月4日（水）

会場：ハイアットリージェンシー京都

講師：川村 元気 氏（映画監督・脚本家）

内容：業界で活躍するトップリーダーによる連続セミナーを開催。今年のテーマは「映画」。心に響くコンテンツづくりの本質に迫るとともに、人材育成とネットワークを創出する機会とする。

●京都クリエイティブ企業キャリアフォーラム

開催日：2027年3月（予定）

会場：未定

内容：京都にスタジオ等を持つアニメ・ゲーム・CG等の制作事業者等を集めた合同企業説明会を開催する。

●コンテンツパッケージ授業

開催日：10月3日（土）～12月5日（土）

会場：キャンパスプラザ京都、京都国際マンガミュージアム（予定）

内容：コンテンツ分野に関する教育研究を推進している京都の諸大学が協力し、それぞれアート、デザイン、映画、マンガ、アニメ、ゲームの分野を分担してリレー講義することにより、京都から発展した日本の表現文化、映像文化を総合的に理解し、現状と展望を考える講義を実施する。

●アニメプロジェクトGO-TAN！

開催日：調整中

会場：調整中

内容：コスプレやアニソン、アニメイベント、ラッピング列車、クリエイターセミナーなどのイベントを開催し、京都全域の文化・商品を、コンテンツを通して盛り上げ、新産業・新しい観光（着地型観光・もてなしの観光）の創出を図る。

●京都太秦シネマフェスティバル

開催日：12月5日（土）～6日（日）ほか

会場：太秦映画村

内容：「映画のまち 京都太秦」で、実際の撮影セットやプロの映画制作者など、本物のクリエイティブに触れる“メディアコンテンツ×地域コミュニティ”体験イベントを開催する。

□キッズ・シネマスタジオ

開催日：調整中

会場：調整中

内容：撮影所の本物の設備を使って、プロの映画監督・撮影所スタッフの指導により、子どもたちが楽しい映画作りを体験し、映画作りの魅力や関心を高める。

□太秦上洛まつり

開催日：12月5日（土）、6日（日）

会場：太秦映画村

内容：京都発のコンテンツを中心としたブース出展や、歴史ジャンルの出展等を実施し、歴史創作コンテンツのクロスメディア発信拠点としての京都・太秦をPRする。

●京都アニものづくりアワード 2026

開催日：9月19日（土）

会場：京まふ会場内

内容：国内各所で発表されたアニメ、マンガ、キャラクター等を活用した異業種コラボ（商品タイアップ、広告映像、クラフトデザイン、地域創生など）を紹介し、優れたものを表彰する。（表彰対象は実施主体の企業、団体、地域）

映画・映像

●京都ヒストリカ国際映画祭

開催日：12月15日（火）～20日（日）

会場：京都文化博物館

内容：京都で培われてきた時代劇・歴史劇等と未来のクリエイターを融合するメディアとが互いに交わる領域を見だし、悠久の歴史を有する京都ならではの歴史・伝統文化を組み合わせたコンテンツの新たな魅力を探るとともに、映画を基盤としたクロスメディア展開の将来展望とその手法を発信することを目的に、歴史劇をテーマにした国際映画祭を開催する。

●京都フィルムメーカーズラボ

開催日：12月15日（火）～20日（日）

会場：京都文化博物館、松竹撮影所、東映京都撮影所

内容：映画制作に携わる若手人材や、アニメーター、ゲーム作家、CG作家など国内外のクリエイターを対象に、時代劇制作ワークショップなどの人材育成カリキュラムを実施する。

●京都映画企画市

開催日：10月3日（土）

会場：京都学・歴彩館

内容：京もの・時代ものの企画発掘・制作と人材育成を目的に、若手映画製作者（監督、プロデューサー、学生等）を対象とした企画市を開催する。優秀作品は京都の撮影所でパイロット版を制作する。

マンガ・アニメ

●京都国際マンガ・アニメフェア（京まふ）

開催日：9月19日（土）、20日（日）

会場：京都市勧業館（みやこめっせ）等

内容：マンガ・アニメ・ゲーム等のコンテンツを活かした新産業の創出・成長、クリエイティブ人材の創出・育成・定着、世界的な文化都市としてのブランド力向上、京都に愛着を持つ関係人口の創出・拡大など、京都を中心とした関西圏のコンテンツ産業振興を図るため、西日本最大級のマンガ・アニメ・ゲーム等の総合見本市を開催する。

- ・マンガ・アニメイベント

開催日：9月19日（土）、20日（日）

会場：京都市勧業館（みやこめっせ）ロームシアター京都 他 ※京まふ会場で実施

内容：人気声優等を招聘したステージイベント等のマンガ・アニメ関連イベントを実施する。

- ・マンガ出張編集部

開催日：11月頃（調整中）

会場：調整中

内容：首都圏を中心とした出版社のマンガ編集部を招き、マンガ家志望者が原稿を持ち込んで添削やアドバイスを受けられる場を創出。加えて今年度は、若手クリエイターが自身の作品を業界関係者や社会に向けて発信することを通して、企業やプロクリエイターと交流できる機会についても創出する。

- ・京都国際マンガミュージアムイベント

開催日：8月～11月頃（調整中）

会場：京都国際マンガミュージアム

内容：開館20周年を記念したイベントを含め、マンガに関する企画展等を実施予定。

- ・京都国際クリエイターズアワード

内容：クリエイター志望者が、京都を通じてプロデビューする機会を創出するための国際コンテスト。「コミックコンテスト」、「デジタルアニメコンテスト」の2つのコンテストからなり、受賞作品を企業や海外メディアに発信するなど、スキルアップの機会を創出し、マンガ・アニメ等のクリエイターを支援する。

- ・滞在型ワークショップ「Field KYOTO」

開催日：未定

会場：未定

内容：京都を題材とした創作活動に資する知識の習得や体験を行いながら、京都を題材とした作品企画に繋がるよう、フィールドワークやプロット作成などの滞在型ワークショップを実施予定。

ゲーム

- BitSummit

開催日：5月22日（金）、23日（土）、24日（日）

会場：京都市勧業館（みやこめっせ）（オンライン併催）

来場者数：68,208人（令和7年度：58,065人）

内容：日本のインディーゲームを国内外のゲームファンやメディアに広く情報発信し、ゲーム分野だけではなく異分野の企業・人々との新たなビジネスマッチングを図りインディーゲーム市場の活性化やゲームによる産業振興を図る。

パートナーイベント

- 京都学生祭典

開催日：10月11日（日）

会場：平安神宮前・岡崎プロムナード一帯

内容：未定

●京都国際学生映画祭

開催日：2027 年 2 月頃（予定）

会 場：京都文化博物館（予定）

内 容：京都を中心とする関西圏の学生が中心となり企画・運営を行う日本最大の国際学生映画祭。
学生が制作した自主映画を世界各地から集め、学生実行委員が厳選した作品を上映する。

KYOTO CMEX 2026 実行委員会委員名簿

(敬称略・順不同)

1 委員長	齋藤 茂	京都商工会議所 副会頭、株式会社トーセ 代表取締役会長兼CEO
2 監 事	小林 慎一	公益財団法人大学コンソーシアム京都 専務理事・事務局長
3 監 事	松井 康史	公益財団法人京都高度技術研究所 専務理事
4 委 員	板倉 一成	京都クロスメディア推進戦略拠点 事務局長
5 委 員	巖本 博	巖本金属株式会社 代表取締役社長
6 委 員	大角 正	株式会社松竹撮影所 顧問
7 委 員	大森 正夫	環境芸術学会 顧問・嵯峨美術大学名誉教授
8 委 員	岡本 圭司	公益財団法人京都産業21 専務理事
9 委 員	奥野 圭太郎	京都産業大学 文化学部観光文化学科 講師
10 委 員	勝島 啓介	京都国際マンガミュージアム 事務局長
11 委 員	菅原 史	株式会社東映太秦映画村 代表取締役社長
12 委 員	窪田 裕幸	一般社団法人京都知恵産業創造の森 専務理事
13 委 員	小嶋 雄嗣	東映株式会社 取締役・京都撮影所長
14 委 員	鈴木 順一	経済産業省近畿経済産業局 産業部 サービス・コンテンツ産業室長
15 委 員	砂田 和寛	株式会社京都放送 代表取締役社長
16 委 員	田井 裕士	株式会社エフエム京都 アカウントプロデュース部 担当部長
17 委 員	高橋 晴久	京都新聞社 メディア局総合研究所長
18 委 員	中西 茂郎	NHK京都放送局 コンテンツセンター長
19 委 員	中村 彰憲	立命館大学映像学部 教授
20 委 員	長谷川 亘	京都コンピュータ学院・京都情報大学院大学・京都自動車専門学校 統括理事長
21 委 員	林 海象	映画監督
22 委 員	細井 浩一	ITコンソーシアム京都 参事
23 委 員	槇田 寿文	特定非営利活動法人映像産業振興機構 事務局次長
24 委 員	宮崎 美帆	一般社団法人GO-TAN 代表理事
25 委 員	森脇 清隆	公益財団法人京都文化財団・京都文化博物館 映像文化創造支援センター長
26 委 員	吉村 和真	京都精華大学 理事長
27 委 員	安達 雅浩	京都府商工労働観光部 副部長
28 委 員	後藤 司	京都市産業観光局クリエイティブ産業振興室 室長
29 委 員	細川 万理子	京都商工会議所 産業振興部 部長
30 オブザーバー	塩川 達大	文化庁 政策課長